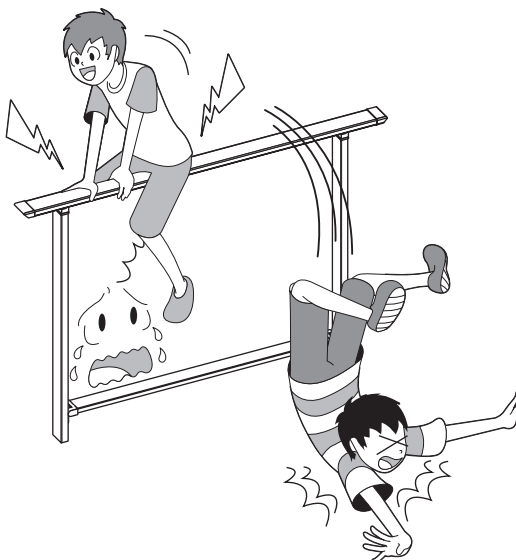


# 本紙を必ず施主様にお渡し下さい

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
本製品を正しく御理解いただくために、この説明書をよくお読みください。

## ■使用上のご注意

- 商品本体の上には、乗ったり、腰かけたりしないでください。また、むやみにゆすったりしないでください。  
※転落したり、脱落により重大な人身事故が発生する恐れがあります。



## ■お手入れ方法

- お手入れは中性洗剤を使用してください。シンナー等の石油系溶剤は、絶対に使用しないでください。  
(塗装のはげ、キズ、変色、変形等の原因となります) ▪
- 汚れは柔らかい布や、スポンジなどで拭き取ってください。 ▪  
金属タワシや研磨剤入り洗剤でこすると表面が傷つき、腐食の原因となります。 ▪
- 表面についたキズは、放置すると腐食の原因になります。  
商品に付属のタッチアップ塗料で補修を行って下さい。



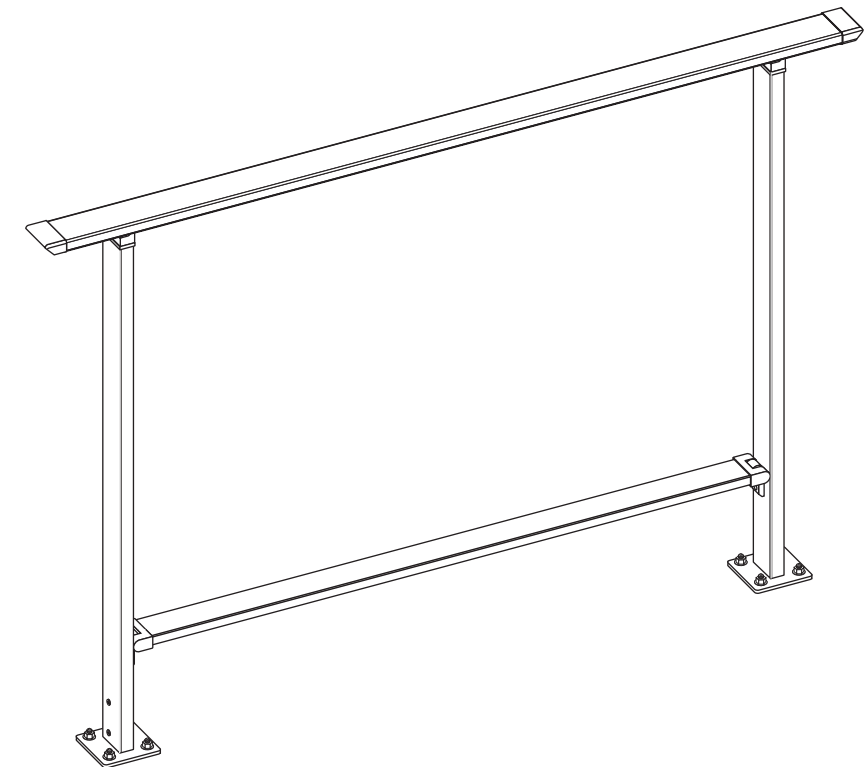
この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
本製品を正しく御理解いただくために、この説明書をよくお読みください。

### ■設置上のご注意

- 歩行補助手摺りを目的にするものです。歩行補助手摺り以外への転用及び改造は行わないでください。

### ■施工上のご注意

- 指定の部品及びオプション品以外は使用しないでください。
- 商品に傷をつけないようご注意ください。
- 商品の施工については必ず施工要領書に従って下さい。
- 製品の水平・垂直に注意して施工を行って下さい。
- 基礎は当社指示寸法以上にして下さい。
- コンクリートモルタルの養生期間は十分(4日以上)とり、養生期間中は重い物を乗せたり、振動させたりしないよう注意して下さい。
- アルミ部材の表面に付着したコンクリート、モルタル等の汚れは速やかに取り除いてください。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れた後に柱を立てますと、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。
- 施工後、ボルト及びねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等が、無いか点検して下さい。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミ等が無いか確認してください。




※図はベースプレートタイプの場合です。


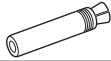

## ■梱包内容

- 開梱時に種類と数量を確認してください。
- 商品に破損や異常がないか確認して下さい。



### ① 笠木セット

No.	名称	員数			単位
		1スパン	2スパン	3スパン	
1	笠木 	1	1	1	本

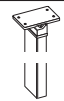

### ② 壁付け金具セット

No.	名称	員数			単位
		1スパン	2スパン	3スパン	
1	壁付け金具 	2	3	4	組
2	グリッパアンカー M6×30 	8	12	16	本
3	トラス頭小ねじ M6×15 	8	12	16	本


### ③ 端部キャップセット

No.	名称	員数	単位
1	端部キャップセット 	1	個
2	トラス頭小ねじ M5×10 	2	本



### ④ 標準支柱セット

No.	名称	員数	単位
1	支柱 	1	組
2	ボタンボルト M6×6 	4	本

### ⑤ 中間キャップ (3スパン以上の場合)

No.	名称	員数	単位
1	中間キャップ 	1	個

### ⑥ その他

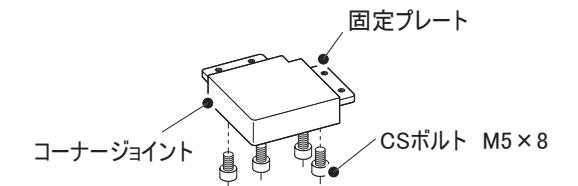
No.	名称	員数	単位
1	タッチアップ塗料 	1	個
2	六角レンチ (対辺4mm) 	1	本

## ■施工手順(オプション)

### 6 ジョイントの組付け

#### ① コーナージョイントの組付け

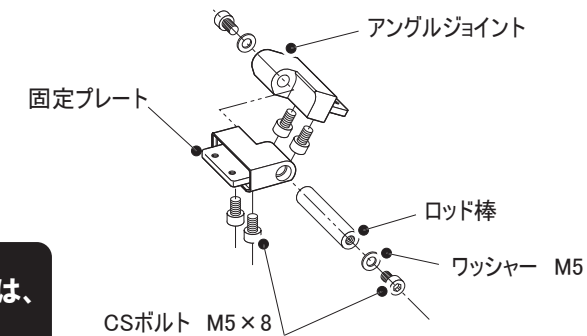
コーナージョイントに固定プレートを嵌め込み、CSボルト(M5×8)で締め付けます。



#### ② アングルジョイントの組付け

アングルジョイントに固定プレートを嵌め込み、CSボルト(M5×8)で締め付けます。

下図のようにアングルジョイントを2個合わせ、ロッド棒を差し込み、ワッシャー(M5)、CSボルト(M5×8)にて仮締めをして下さい。

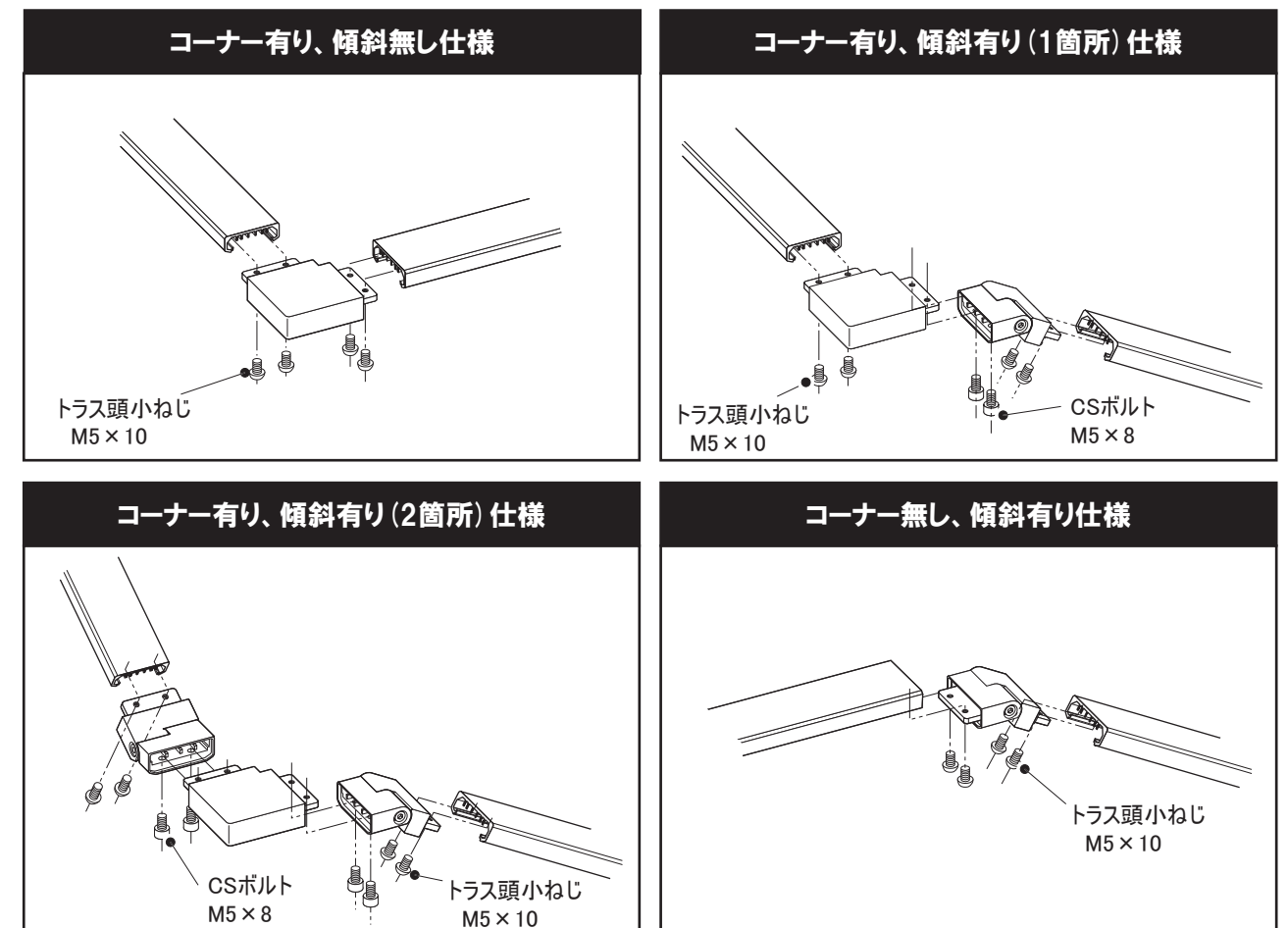


#### ⚠ 注意

コーナージョイントにアングルジョイントを取り付ける場合は、どちらか一方の固定プレートは不要になります。

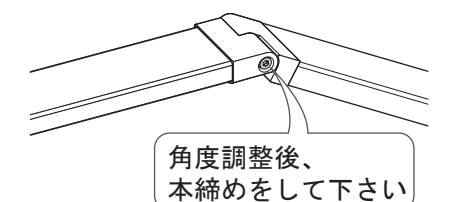
#### ③ 本体への取付け

施工現場に合わせて本体に取付けて下さい。



#### ④ 角度調整

傾斜角度を調整した後、②で仮締めしたアングルジョイントのCSボルトを本締めし、固定して下さい。



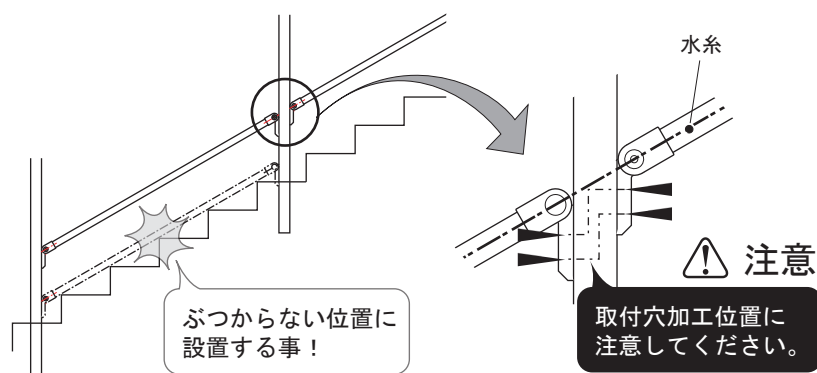
## 5 下棧 (オプション) の取付

### ① 下棧取付位置の確認

特に階段などの傾斜に設置する場合は、下棧が当たらない様に、下棧の取付高さ位置を決めて下さい。

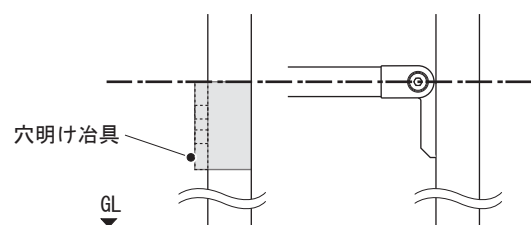
**注意**

水糸を張り、下棧ジョイント2の取付位置を決めて下さい。



### ② 下棧取付用の穴明け

付属の穴明け冶具を使い、下棧取付位置にドリルでφ3.5の穴をあけます。



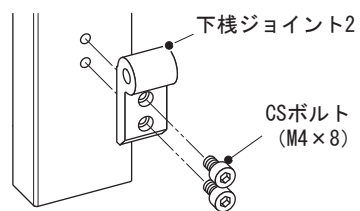
- ① 冶具を使用して墨出しをします。
- ② φ3.5 の下穴をあけて下さい。

**注意**

必ず下穴をφ3.5で開けて下さい。穴が小さいとボルトが入らず、大きいとボルトが効きません。※タップ加工をすると、ボルトを締め付けやすくなります。

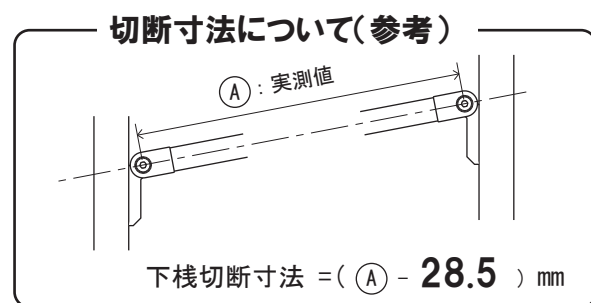
### ③ 下棧ジョイント 2 を支柱に取り付ける

②であけたの穴に下棧ジョイント 2 をCSボルト (M4×8) で取り付けます。



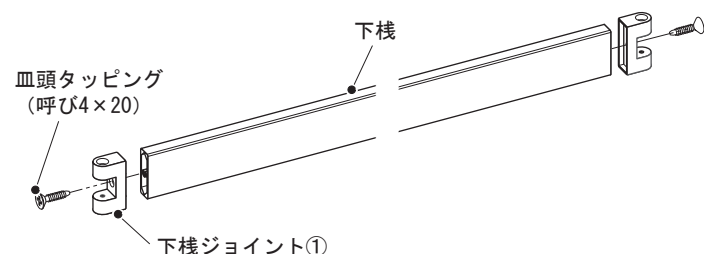
### ④ 下棧の切り詰め

取付場所によって下棧の長さを調整し、切断して下さい。



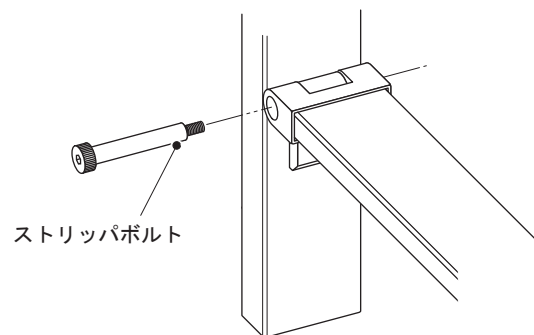
### ⑤ 下棧ジョイント金具の取付

切断した下棧の両端に下棧ジョイント①を皿頭タッピングビス (呼び4×20) で取り付けます。



### ⑥ 下棧の取付け

下棧と支柱をストリップボルトにて組付けます。



## 【オプション】

### ① 目板セット

No.	名称	員数			単位
		1スパン	2スパン	3スパン	
1	目板 大	1	2	3	本
2	目板 小	1	1	1	本
3	サンドペーパー	1	1	1	枚
4	小口保護テープ ※1枚/スパンは予備	2	4	6	枚

### ② 下棧セット

No.	名称	員数	単位
1	下棧	1	本
2	下棧ジョイント 1	2	個
3	下棧ジョイント 2	2	個
4	CSボルト M4×8	4	本
5	ストリップボルト	2	本
6	皿頭タッピングビス 呼び4×20 (ガイド付BRP形)	2	本
7	穴明け冶具	1	個
8	六角レンチ (対辺3mm)	1	本

### ③ 追加支柱

No.	名称	員数	単位
1	支柱	1	組
2	ボタンボルト M6×6	4	本

### ④ アングルジョイントセット

No.	名称	員数	単位
1	アングルジョイントセット	2	個
2	CSボルト M5×8	2	本
3	トラス頭小ねじ M5×10	4	本
4	ロッド棒	1	本
5	ワッシャー M5	2	枚

### ⑤ コーナージョイントセット

No.	名称	員数	単位
1	コーナージョイントセット	1	個
2	トラス頭小ねじ M5×10	4	本

### ⑥ ベースプレートセット

No.	名称	員数	単位
1	ベースプレート	1	個
2	六角穴付ボルト 極低頭タイプ M4×10	4	本
3	ワッシャー M8用	4	枚
4	スプリングワッシャー M8用	4	枚
5	袋ナット M8	4	個
6	オールアンカー M8用	4	本
7	穴明け冶具	1	個
8	六角レンチ (対辺3mm)	1	本

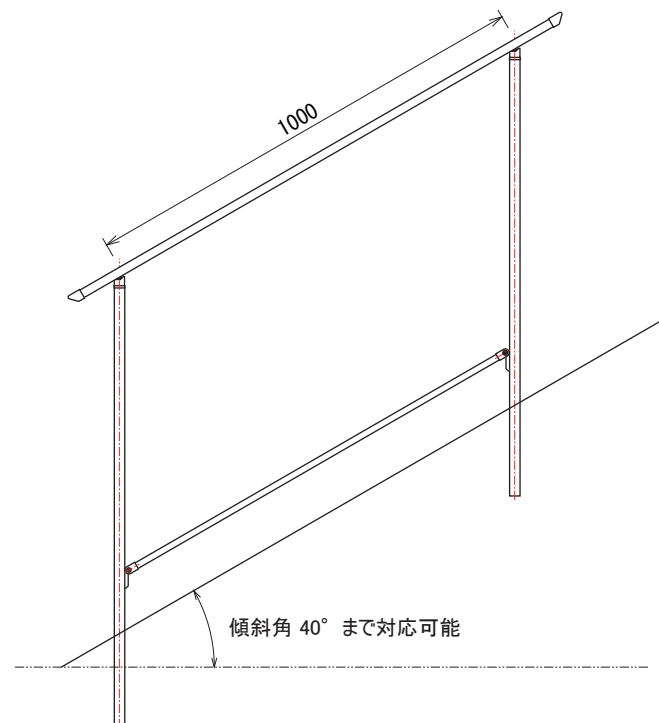
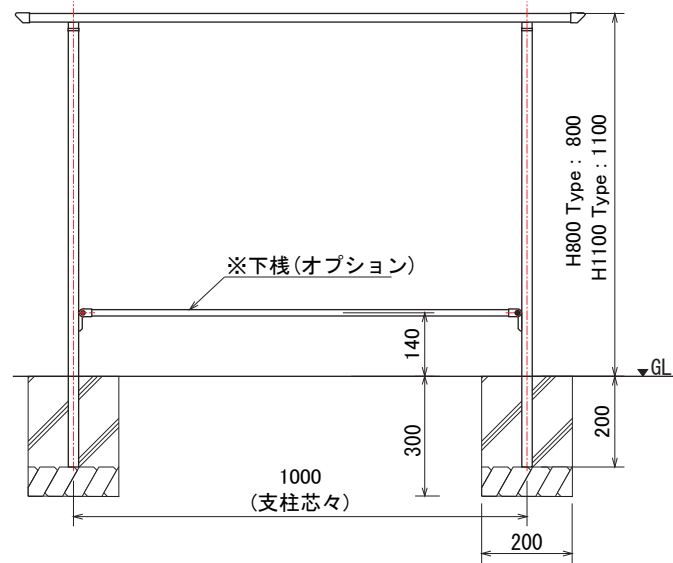
### ⑦ 支柱壁面固定金具セット

No.	名称	員数	単位
1	壁面取付プレート ※支柱に取付済み	1	個
2	支柱下部プレート ※支柱に取付済み	1	個
3	オールアンカー M8用	6	本
4	ワッシャー M8	6	枚
5	スプリングワッシャー M8	6	枚
6	袋ナット M8	6	個

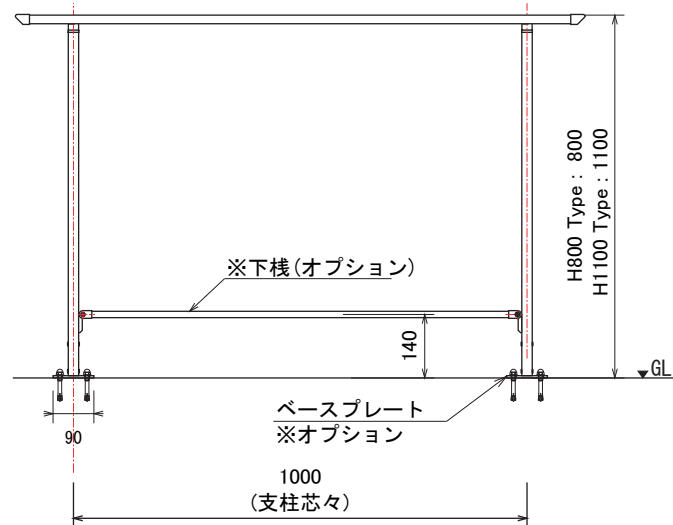
■水平タイプ

■傾斜タイプ

●標準仕様



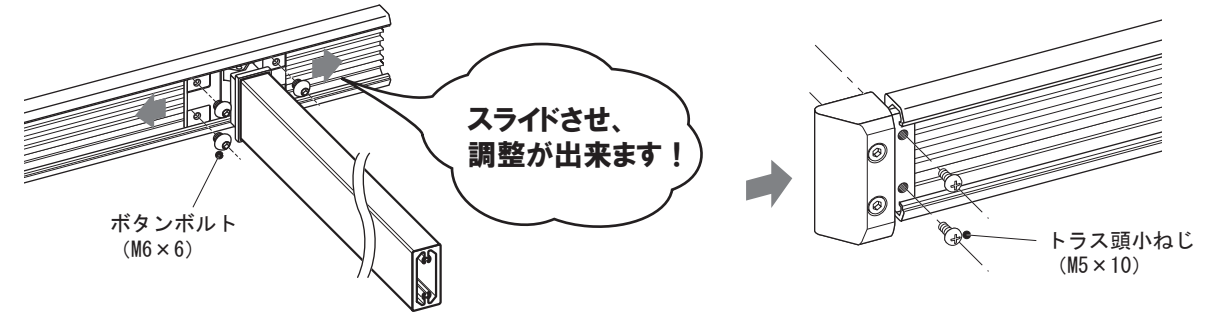
●ベースプレート仕様



傾斜タイプは対応出来ません

2 笠木の取付

下図の様に、笠木を支柱セット上部の取付板にスライドさせ入れ込み、位置を調整し、ボタンボルト (M6×6) にて固定します。



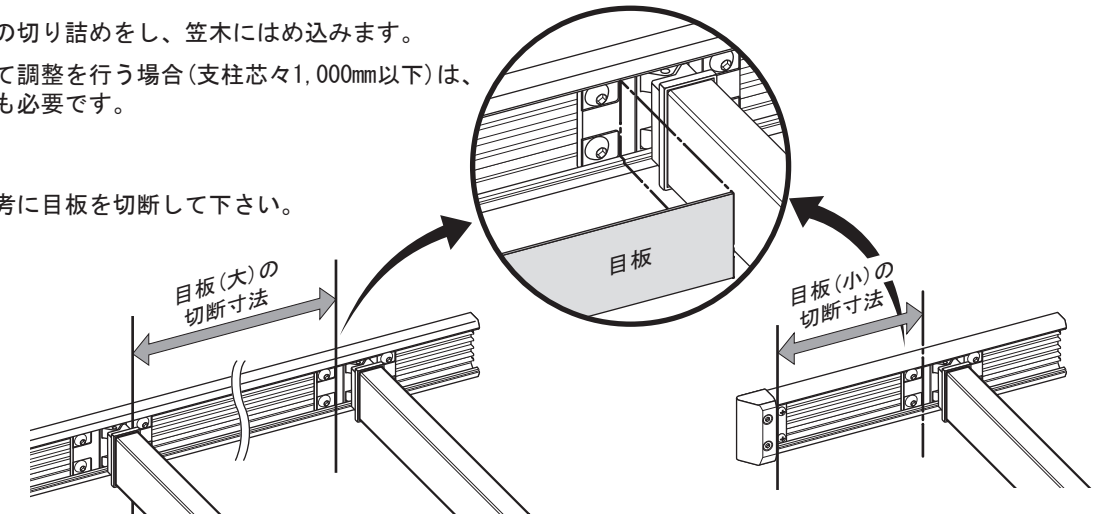
4 目板 (オプション) の取付

目板(大) ※、目板(小)の切り詰めをし、笠木にはめ込みます。

※支柱ピッチを現場にて調整を行う場合 (支柱芯々1,000mm以下) は、目板(大)の切り詰めも必要です。

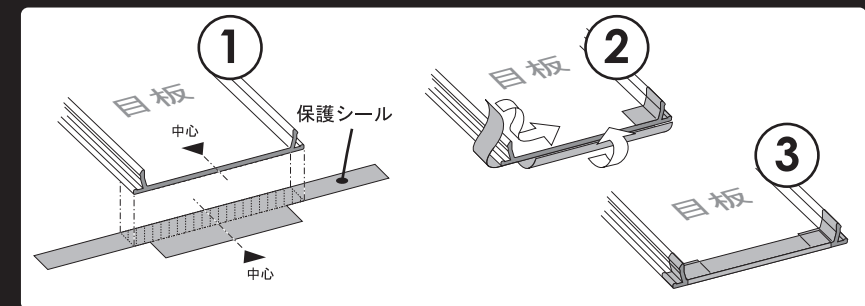
①目板の切断

下図の切断寸法を参考に目板を切断して下さい。



⚠ 注意とお願い

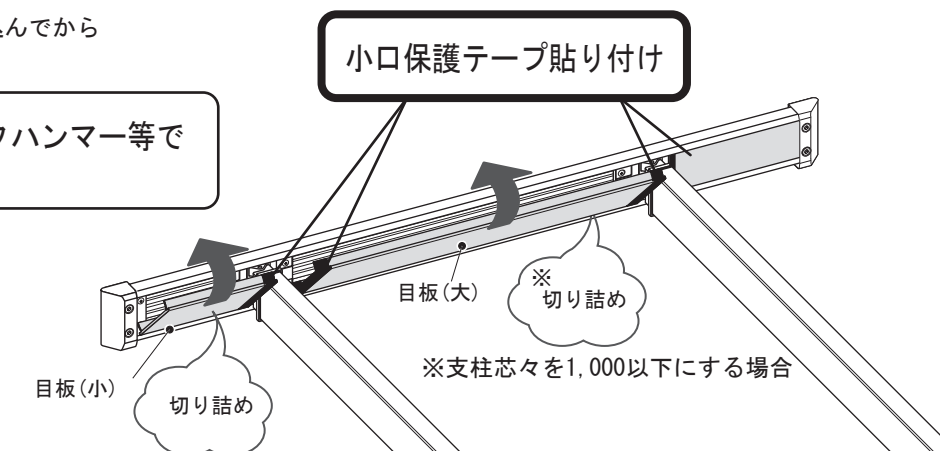
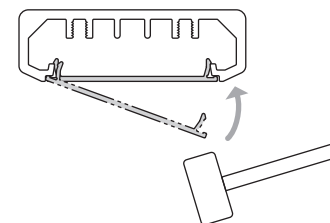
お客様に安全にご使用頂く為に…  
切り詰めを行った場合、切断小口をヤスリ、もしくは、サンドペーパー(同梱)で、バリ等を取り除き、汚れ、油、水等を拭き取り『小口保護テープ(同梱)』を右図の様に貼り、保護して下さい。



②目板のはめ込み

目板の“つば”の一方を笠木の端部にはめ込んでから目板を押し込みます。

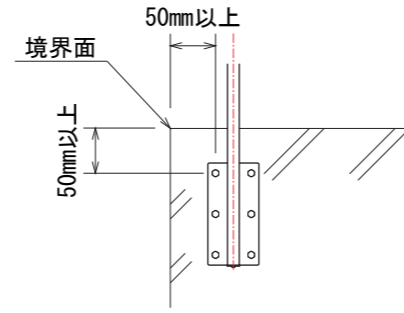
はまりにくい場合は、プラスチックハンマー等でたたいてはめ込んで下さい。



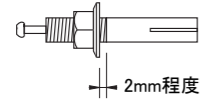
## E. 支柱壁面固定の場合

### ⚠ 注意

- ・柱の中心を境界面から50mm以上離して設置して下さい。
- ・コンクリートブロック、レンガ等への設置は避け下さい。

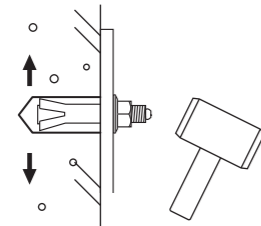


- ① オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前(ねじ部が2mm程度残るくらい)までまわして下さい。

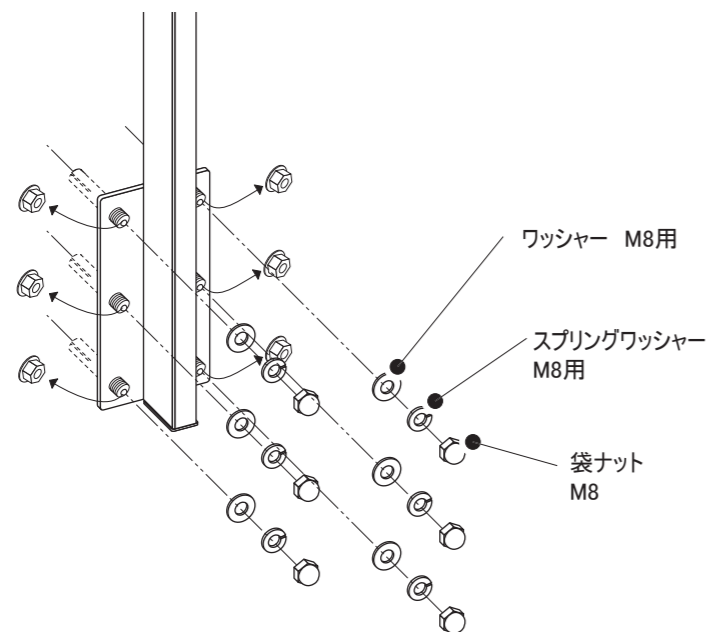


- ② 取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴(φ8.5、深さ40mm)をあけ、孔内の切粉を除去します。

- ③ 本体を置き、アンカーを挿入します。芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込み、スパナ等でナットを締め付けます。



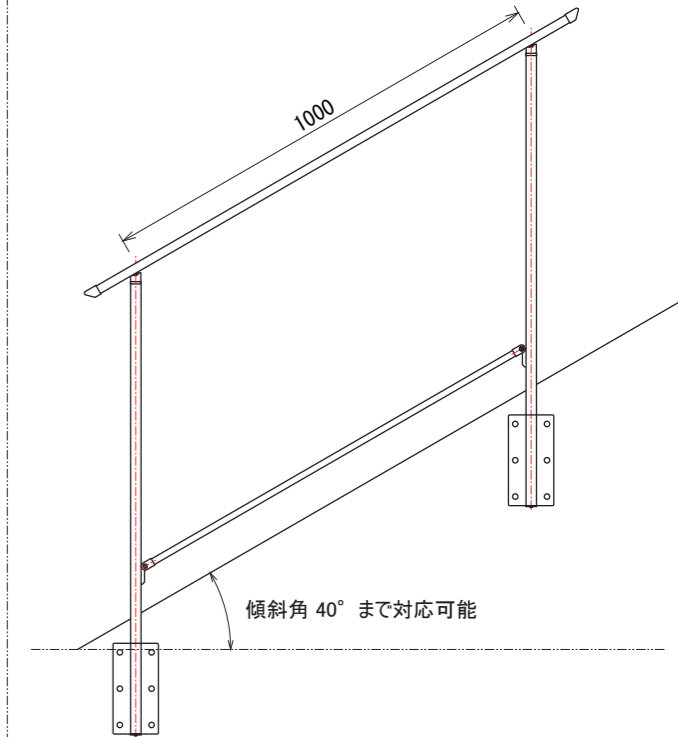
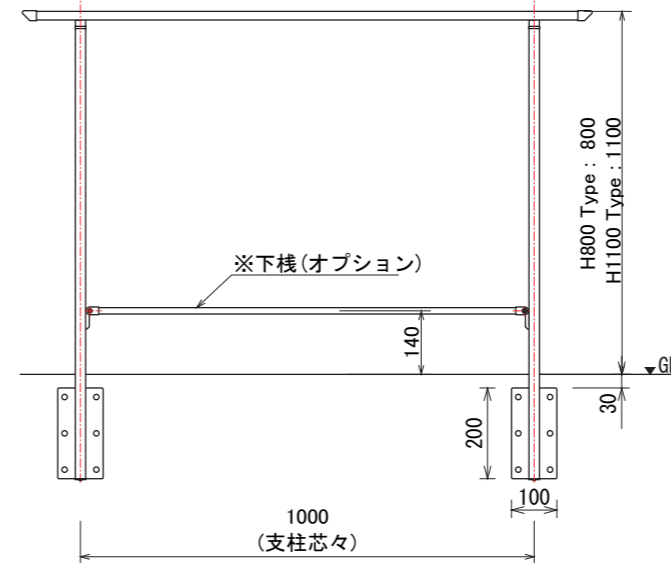
- ④ ナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付ます。



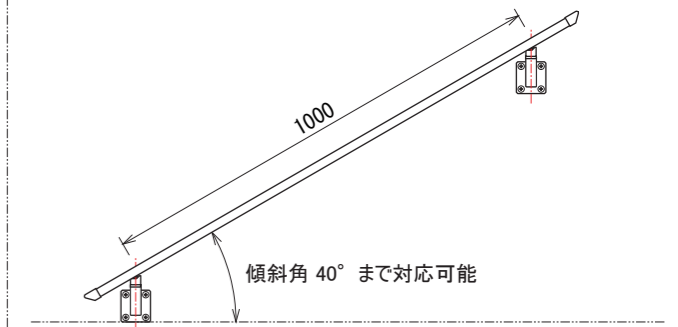
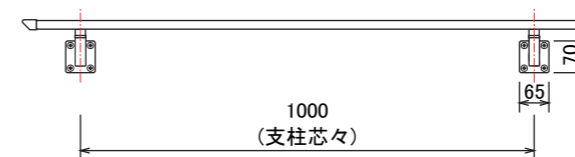
### ■ 水平タイプ

### ■ 傾斜タイプ

#### ● 支柱壁面固定仕様

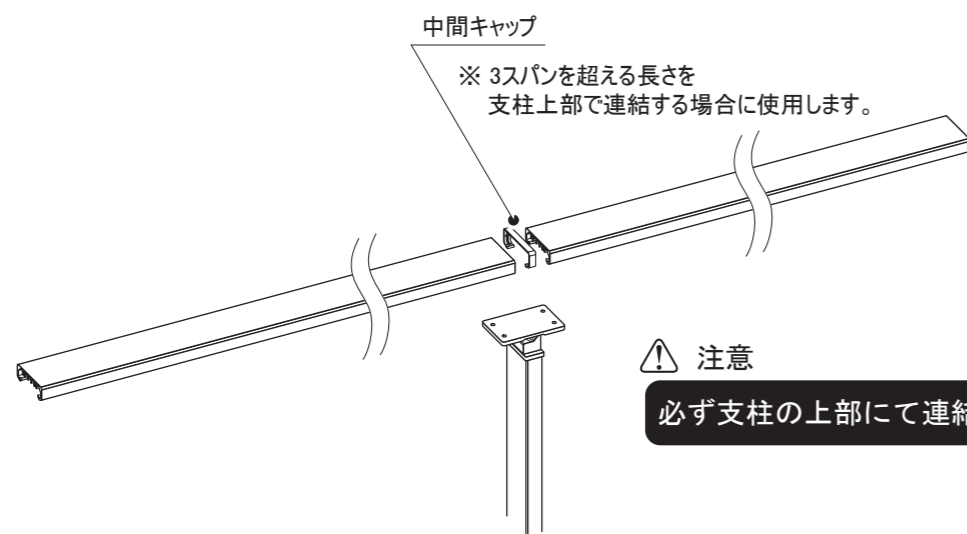
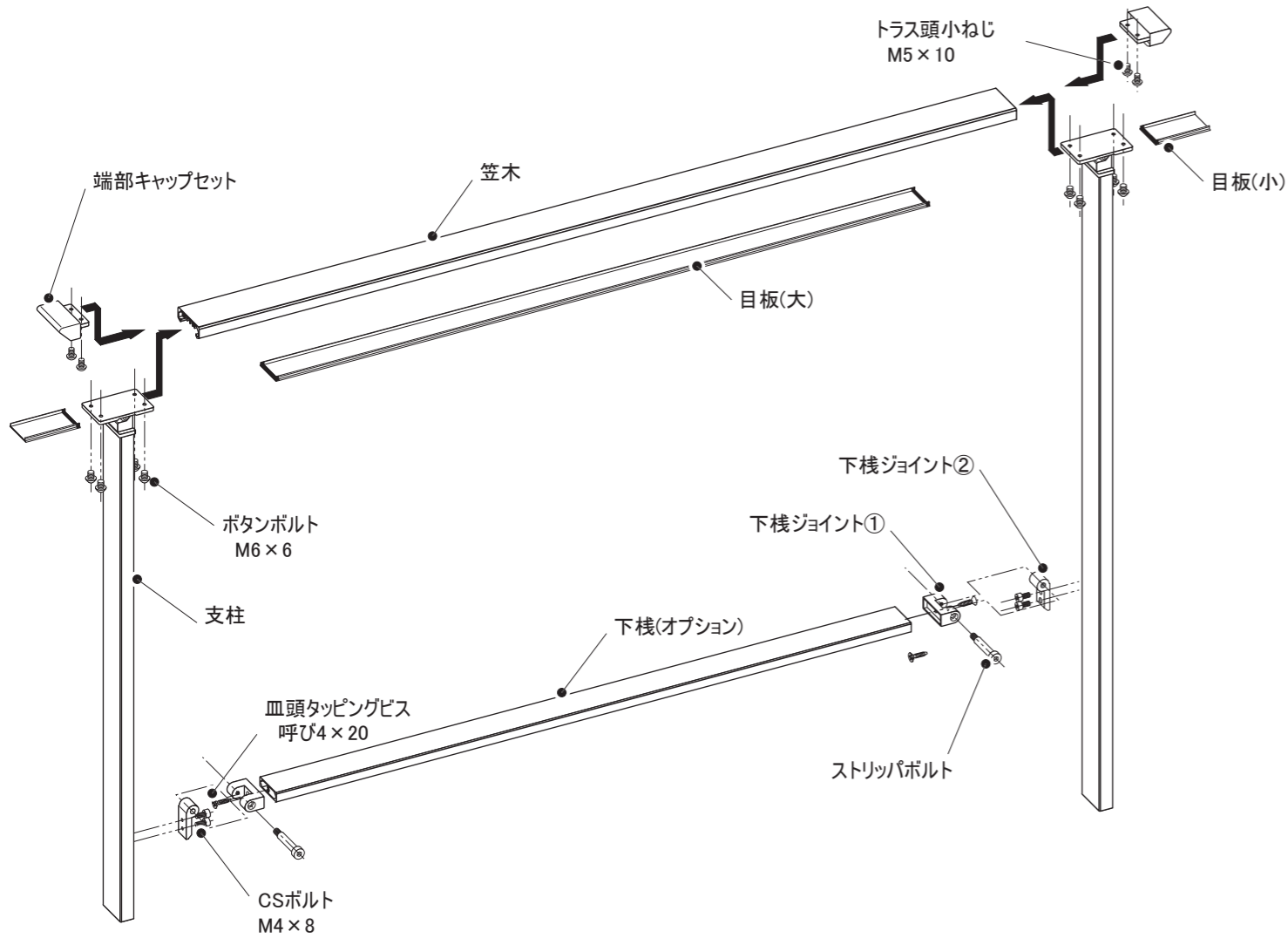


#### ● 壁付け仕様



## ■基本構造と部材概略 (1)-a

### ■標準仕様

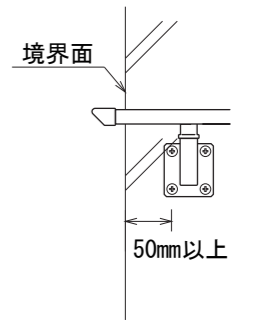


**注意**  
必ず支柱の上部にて連結して下さい。

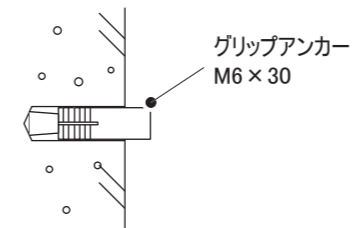
## D. 壁付けの場合

### ⚠ 注意

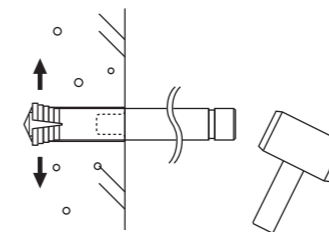
- ・柱の中心を境界面から50mm以上離して設置して下さい。
- ・コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け下さい。



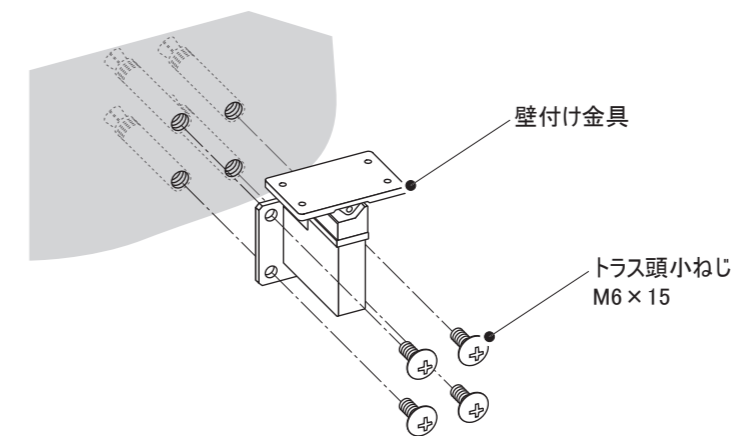
- ① 取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴(Φ11、深さ33mm)をあけ、孔内の切粉を除去し、グリップアンカーを挿入します。



- ② 専用ハンドホルダーを用いてアンカーを打ち込みます。



- ③ 壁付け金具をトラス頭小ねじで取付け、固定します。



## C. ベースプレート施工の場合

### ⚠ 注意

- ・柱の中心を境界面から50mm以上離して設置して下さい。
- ・コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け下さい。

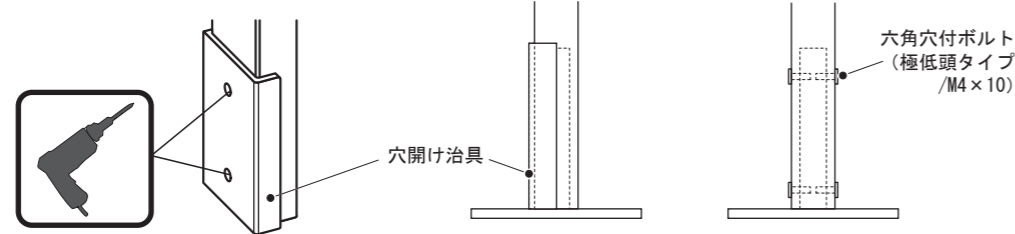
- ① 支柱を切断します。  
付属の支柱は、埋め込み用となっていますので、右図の寸法にて切断してください。

### ⚠ 注意

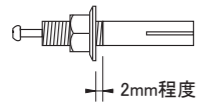
- ・階段等に設置の場合、取付場所によって切断寸法が異なります。  
現場に合わせて切断寸法を調整して下さい。

- ② 付属の穴開け治具を用い、ベースプレート取り付け位置にドリルでφ5の穴をあけます。

- ③ ベースプレートを本体支柱に差し込み、六角穴付ボルト（極低頭タイプ/M4×10）で固定します。

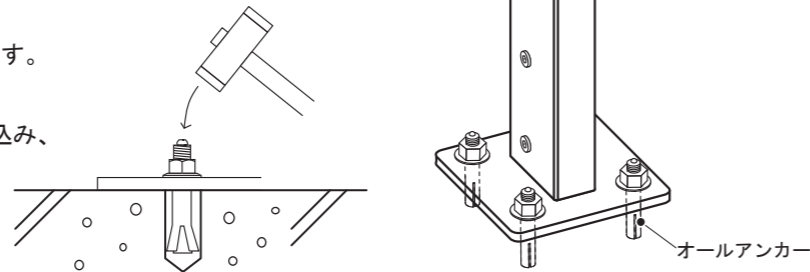


- ④ オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前（ねじ部が2mm程度残るくらい）までまわして下さい。

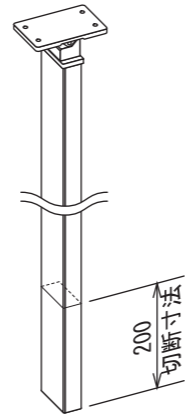
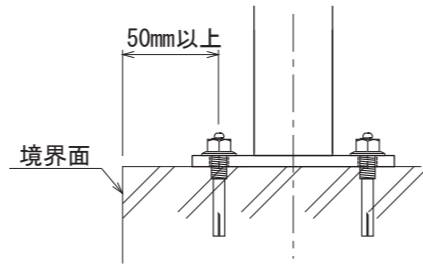
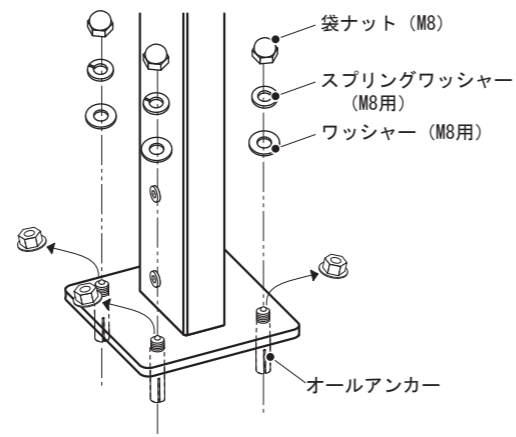


- ⑤ 取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴（φ8.5、深さ40mm）をあけ、孔内の切粉を除去します。

- ⑥ 本体を置き、アンカーを挿入します。  
芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込み、スパナ等でナットを締め付けます。



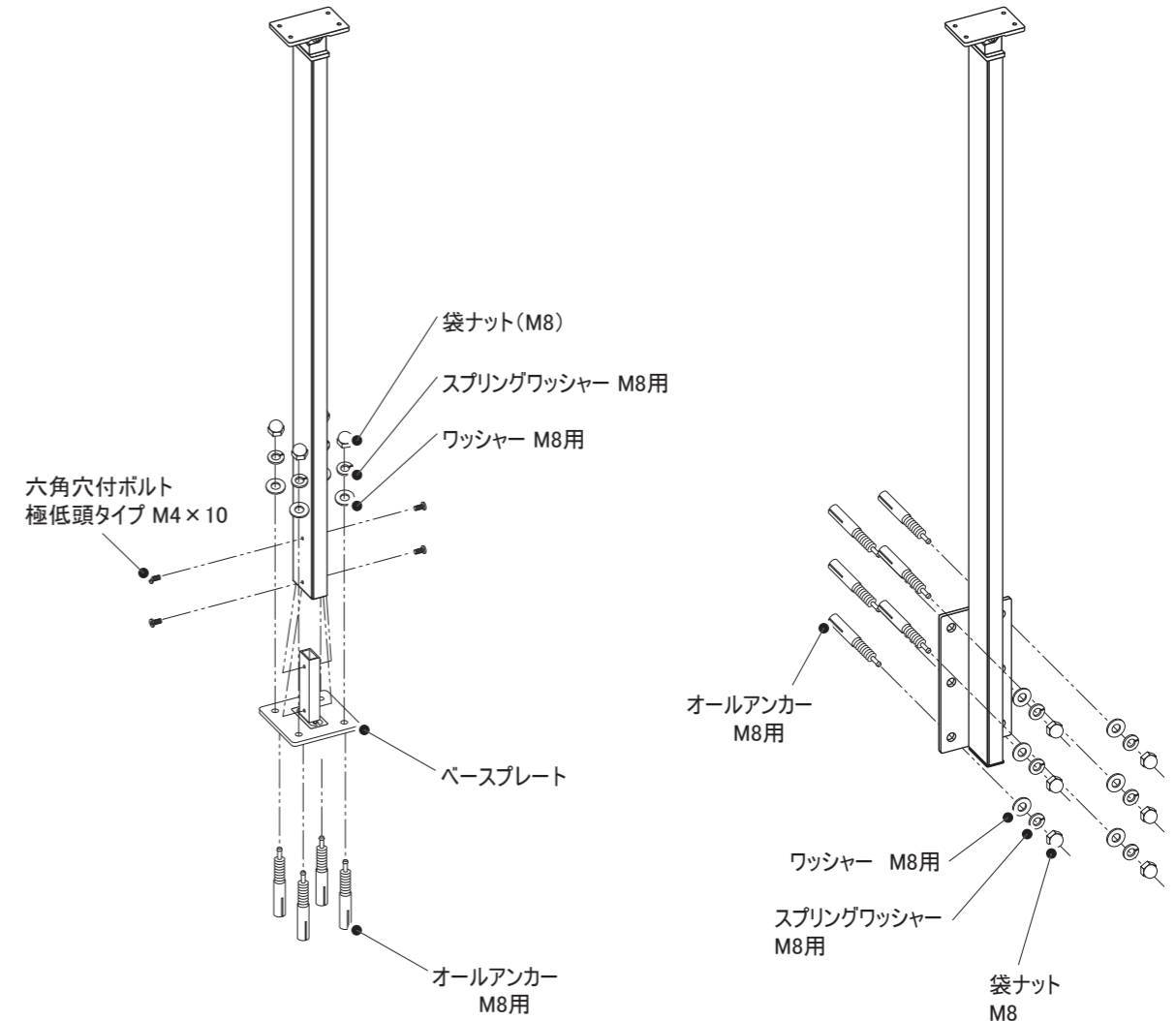
- ⑦ ナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付けます。



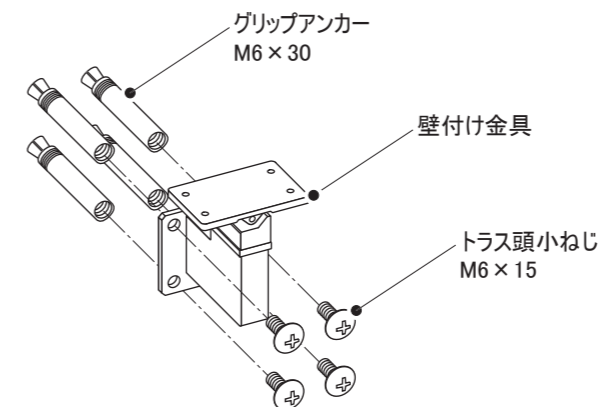
## ■基本構造と部材概略 (1)-b

### ■ベースプレート仕様 (オプション)

### ■支柱壁面固定仕様 (オプション)

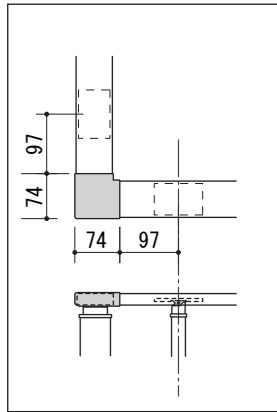


### ■壁付け仕様

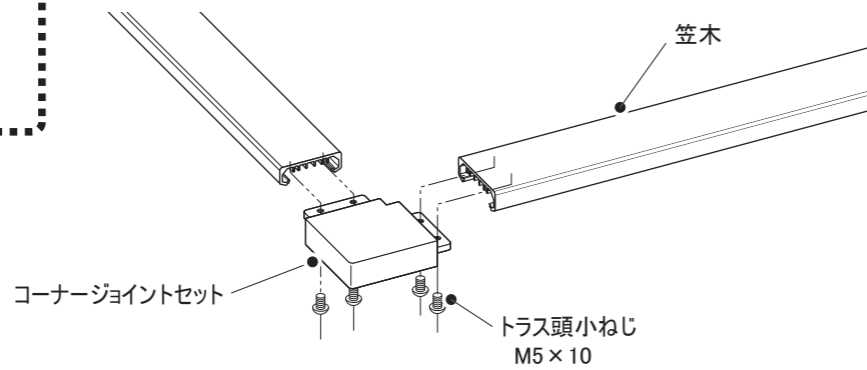
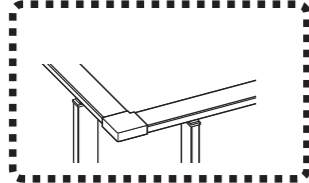




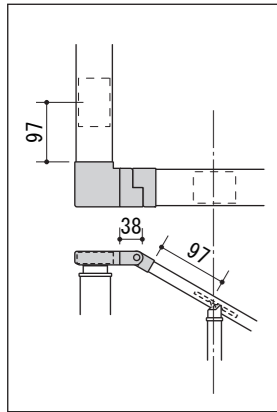
■寸法図-1



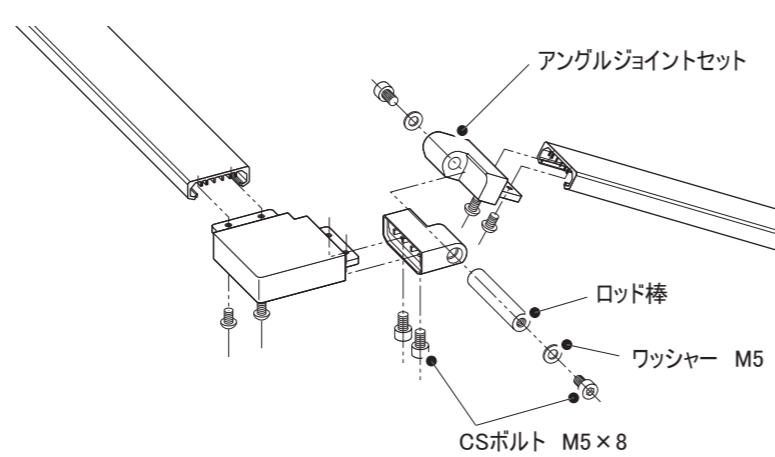
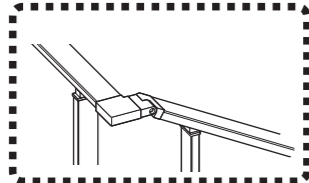
■納まり例-1



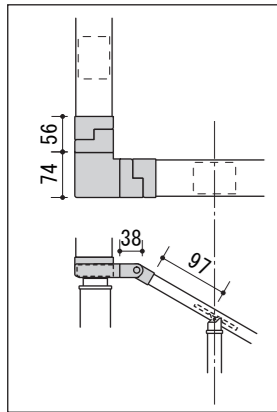
■寸法図-2



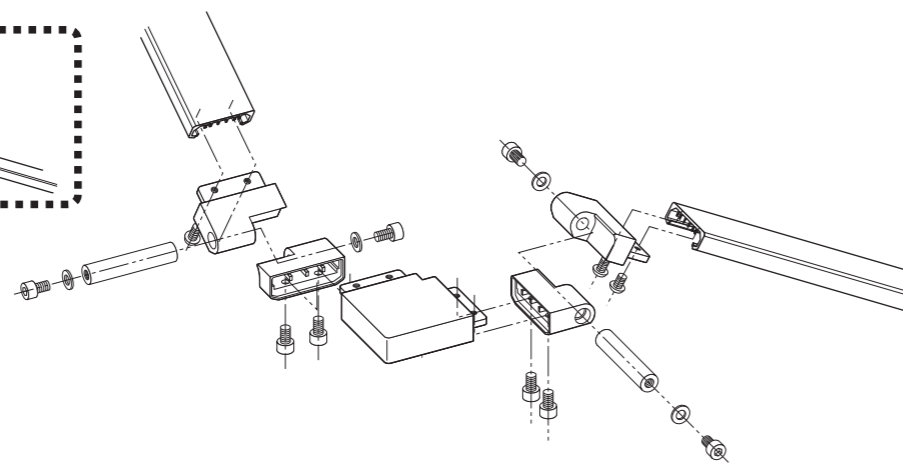
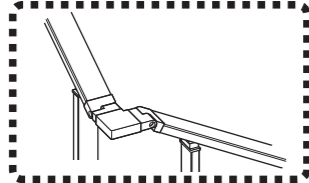
■納まり例-2



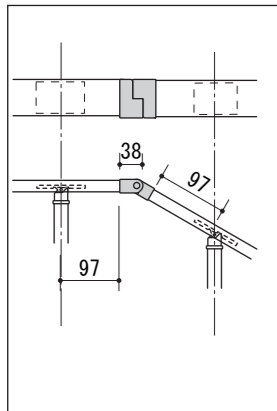
■寸法図-3



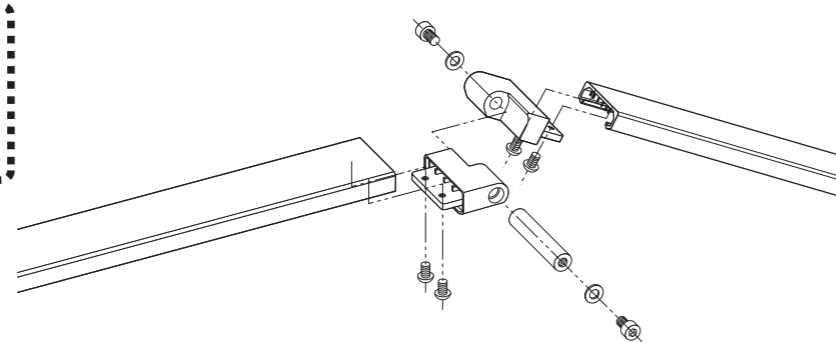
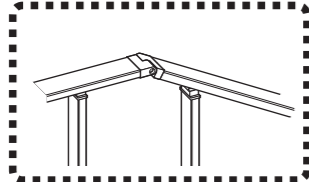
■納まり例-3



■寸法図-4



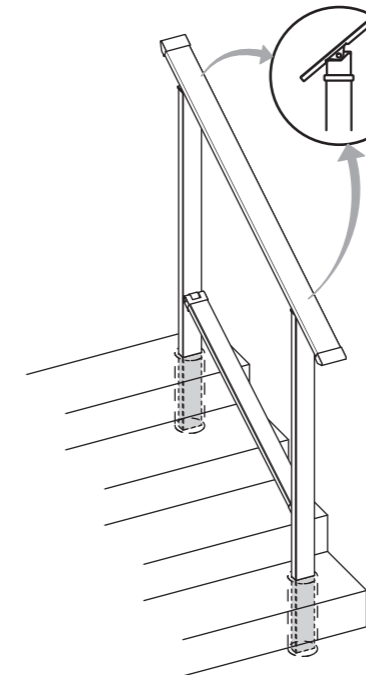
■納まり例-4



## 1 支柱の設置

支柱の設置位置を確認し固定します。

※下棧 (オプション) を取り付ける場合、先に **5** ①~③ (P.9参照) までを先に済ませておくと、施工しやすくなります。



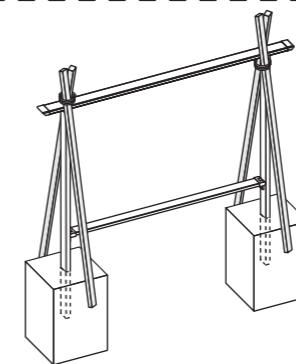
**注意**

支柱キャップ取付板の向きに注意して下さい。

### A. 基礎固定の場合

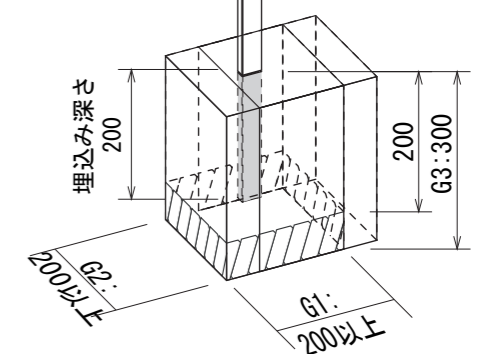
本体をコンクリートモルタルで固定します。

本体を支え棒などで自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートを打って下さい。



下図を参考に支柱を固定して下さい。

■必要基礎寸法



### B. コア抜きの場合

支柱の埋め込み深さを200mmとし支柱を固定して下さい。(コア径70φ~80φ)

※本体の水平、垂直を確認するまで、固定しないで下さい。

